

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年11月29日)

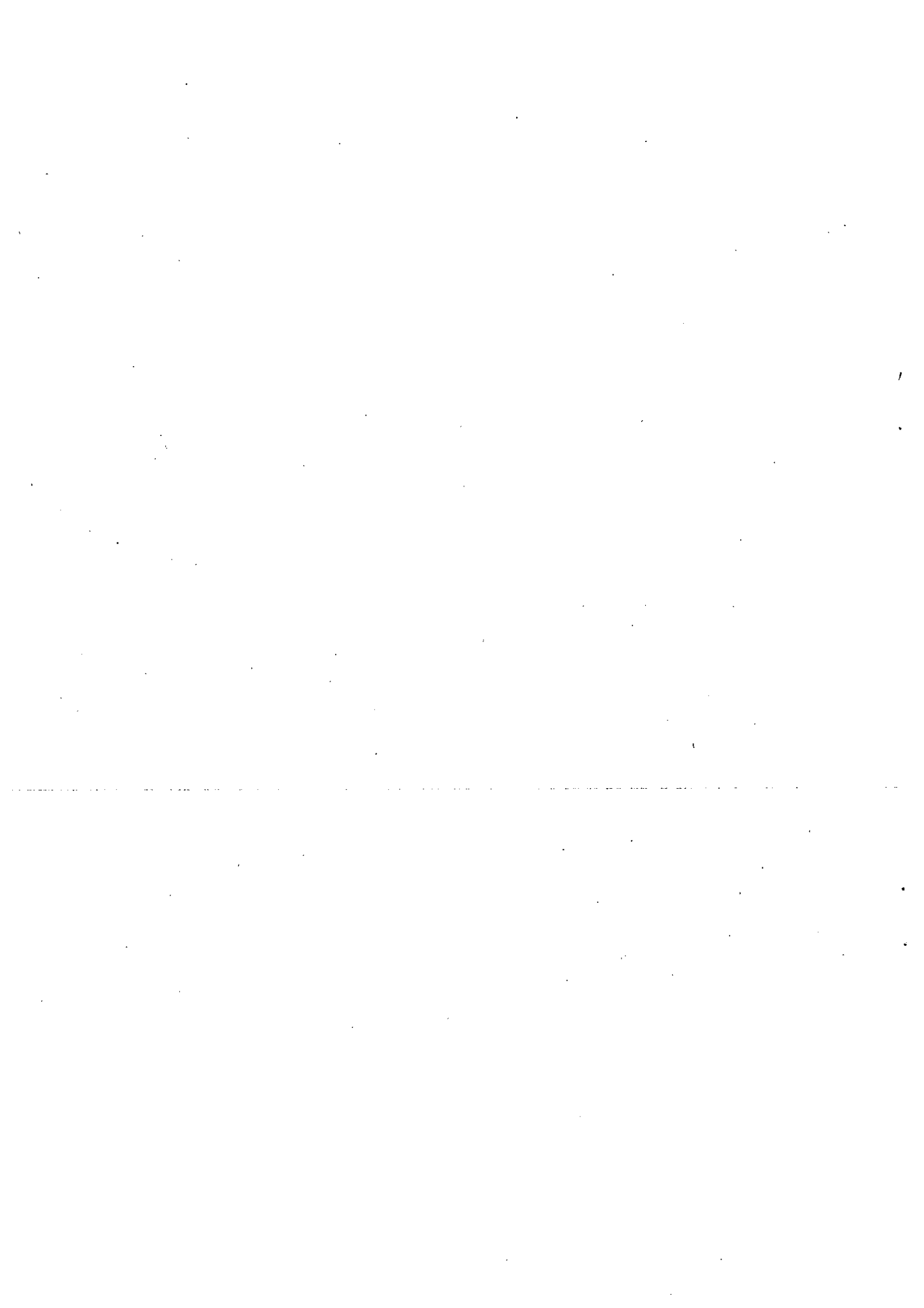
[件名]

- 1 ハングライダー・パラライダーの安全な飛行に関する

第1回意見交換会の概要について

(危機対策・情報課) … 1

危 機 管 理 局



ハンググライダー・パラグライダーの安全な飛行に関する第1回意見交換会の概要について

令和元年11月29日

危機対策・情報課

10月27日に鳥取市河原町の霊石山上空で、飛行していたハンググライダー同士が衝突し、1人が死亡、1人が大けがした事故を受け、より安全な飛行を実現するため、関係機関（者）による意見交換会の立ち上げを行い、第1回意見交換会を開催しました。

1 開催日時 令和元年11月28日（木）午後5時30分～6時40分

2 開催場所 鳥取県災害対策本部室（県庁第二庁舎3階）

3 出席者（13名）

| 区分 | 機関名 | 役職 | 氏名 |
|-------|----------------------------------|----------------|-------|
| 県内団体 | 鳥取県フライヤー連盟 （オークハンググライダーズスクール） | 理事長 （代表取締役） | 川瀬 力 |
| 〃 | ゼロパラグライダーズスクール | 代表取締役 | 片岡 義夫 |
| 愛好家 | 霊石山フライトエリア友の会 | 会長 | 米村 昌三 |
| 〃 | 〃 | 副会長 | 松村 貴博 |
| 有識者 | 鳥取大学大学院機械宇宙工学専攻 | 教授 | 川添 博光 |
| 行政（市） | 鳥取市市民生活部地域振興課 | 課長補佐 | 吉田 稔 |
| 〃 | 〃 危機管理部危機管理課 | 危機対策係長 | 太田 瑞穂 |
| 行政（県） | 鳥取県交流人口拡大本部観光交流局 | 副局長 | 岩下 久展 |
| 〃 | 〃 地域づくり推進部スポーツ課 | 課長補佐 | 前田 康博 |
| 〃 | 〃 生活環境部緑豊かな自然課 | 課長 | 池内 富久 |
| 〃 | 〃 危機管理局 | 局長 | 西尾 浩一 |
| 〃 | 〃 危機管理局危機対策・情報課 | 課長 | 和田 博之 |
| 〃 | 〃 危機管理局危機対策・情報課 | 危機管理専門官 | 島瀬 達也 |

4 意見交換会の内容及び主な発言（意見）等について

(1) 事故概要等について

- ・第22回霊石山フライトフェスティバル開催中（10/26～27）の競技中に起きた重大事故。
- ・事故原因については、現在、警察において調査中であるが、公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟（JHF）の見解では、気象が安定している状況の中、ほぼ同じ高度で飛行しており、結果的に適切な回避行動（他機警戒）が取られていなかったことによる衝突と考えられる。
- ・霊石山友の会では、11/9に総会を開催し、今回の事故総括を行った上で、フライト条件に独自の安全セミナー受講を義務付けた。

(2) これまでの安全対策等について

- ・各県が加盟するJHFでは、事故防止のため、技能証制度、フライヤー登録、機体の型式登録制度を設けて、安全対策に関する取組を自主的に実施している。
- ・また、JHFの組織内に安全性委員会を設置し、フライト安全指針の作成・周知、教官等への指導徹底を行うとともに、事故発生時の報告、事故調査員の派遣、事故対策の発表等を行っている。
- ・霊石山友の会は、JHFの共通ルールに加えて、霊石山フライトエリアにおけるローカルルールを追加し、安全飛行に努めている。
- ・A、B、C級のライセンス保持者は、全員スクールに入校中であり、継続した安全教育を受講している。

(3) 意見交換における主な意見等

- ・今回の事故発生を踏まえ、JHFのホームページに「空中衝突を防ぐために」の文書が近日中に掲載される予定である。
- ・他機警戒を徹底するため、フライヤーの意識を上げることが大切である。

- ・フライトの為の装備品の機能も、年々向上しているが、使用方法、使用前の確認不十分なヒューマンエラーによる事故は発生している。
- ・事故を受け開催した安全セミナーについては、霊石山フライトエリア友の会の約半数（県内会員はほぼ全員：鳥取大学生、及び社会人）が受講した。
- ・次回の意見交換では、自衛隊の現職ヘリコプターパイロットにも出席いただき、安全管理について助言をもらう予定である。
- ・第三者、専門的な知見のある方からのアドバイスはありがたい。
- ・事故調査は現状JHFのみで行っているようだが、専門性や人的支援の面からも、国に事故調査委員会の設置等を要望していくことも必要ではないか。
- ・レジャースポーツとして規制は強くしない方がよいのでは。
- ・ハンググライダー、パラグライダーは、段々世間に認められてきた。「自由に飛ぶ」ことが出来なくなったら、このスポーツの醍醐味がなくなる。
- ・規制ありきではなく、「安全に飛行していただく」ことについて、次回以降の意見交換会で検討していきたい。

5 今後の予定

今回出た意見等をもとに、より安全な飛行を実現するための対策等について、さらに意見交換を行う。

(令和元年12月～令和2年1月頃の予定)